



発行所
三池炭鉱労組
大牟田市不知火町2
電話 ③③③③番
③③③④番
編集兼
発行人 渡田 紀生
年間600円 送料共

皆さん、明けましてお
めでとうございます。い
よいよ七〇年がやってき
ました。闘いを強めるに
も、まず何はおいても本
紙へ、これまでに以上に
協力をお願いします。
編 集 部

男が怒れば、女も怒る。三池の
闘いは家族総ぐるみだ。この団
結がある限り、七〇年の展望は
必ず開ける。



三池闘争から十年

われわれは七〇年
をどう闘うか？

一九六〇年十一月一日、わ
れわれ三池炭組の組合員・家
族は「闘いはこれからである
という決意を敢えて表明し、
一致団結、これからの就労闘
争に確信をもって突入する」
(スト解除、就労総決起大会
の大会宣言より)ことを宣言
し、職場における抵抗闘争を
家族ぐるみで闘い抜いて十年
がすぎました。いま七〇年代
の幕開きをむかえるに当って
われわれの十年と、いまから
の闘いを語り合っていただき
ました。新年をむかえてみん
なの決意をもう一度固めあい
ましょう。(編集部)

出席者
浦指導部、昨年二月に停年退
職
宮崎 勝さん(三十八才、四
山指導部、安全委員)
宮原 一樹さん(五十才、宮浦
指導部、開発常一)
池畑重富さん(三十才、三川
指導部、常一仕繰)
林田ハツエさん(四十六才、
三川指導部、坑外)
司会 渡田書記次長

労働者魂をさ
たえ上げた

この十年の闘い

【司会】今年は一九七〇年、三
池闘争から十年、みなさんもの
十年苦しい闘いを闘い抜いてこ
れたわけですがそれを振り返って

この十年でできた
闘う決意



渡田 さん

七〇年の闘いの出発のカタチにした
いと思えます。まず十年前の就労
当時といまを比較して気持や職場
の状況はどうですか？

【宮崎】当時、私は二十八才で
三池闘争が終わったころもわれわ
れの闘いが反合理化闘争とも思っ
ていなかったし、闘わねばならな
いとは思っていなかった。ただ裏
切ったらいかんというぐらいで厳
しさをなかったし、三池炭組も多
く職場の主導権もあった。第二組
合員に対する意識も「おれどんが
方が仕事はできるソ」というべら
いだった。三池炭組で闘わなければ
ならないと思ったのはこの十年
の中だ。

見直した若い
第二組合員

【宮原】六〇年の三池闘争は炭
鉱労働者の十一万人の首切り体制
つくりの安部と三池といわれてい
たホッパーでも闘ったが、さて自
分自身は一体何のために闘ってい
るのかになるとまだ十分さがあ
った。私は当時本所の物資課にい
たが、闘争終結後は宮浦の選炭場
に配転された。そこでは合建がも
のすごく半分が婦人部だったので
私が委員になり、そんな合理化に
抵抗するためにまず小さな団結
(五人組)をつくることからはじ
めた。

これがかなり成功してみんな
取組に合建について抗議するまで
になった。第二組合の人たちも最
初は会社の宣伝に毒されてわれわ
れに高姿勢で当たっていたが、一人
(二面上段へ続く)